

人口減少都市シカゴにおける

コミュニティ・マネジメント

主催：熊本学園大学附属社会福祉研究所

◆講演◆

仁科 伸子 氏

(熊本学園大学社会福祉学部 准教授)

日時：2015年12月12日(土)

14:00~16:00

会場：熊本学園大学

11号館4階1141教室



参加費：無料

定員：100名(先着)

※定員に達した時点で受付を締め切ります。

ポイント

シカゴは19世紀に移民の流入によって急成長しました。人口のピークは1950年代でその後人口は漸減しています。ある地域では、人口が1950年代の十分の一まで減少して治安が悪化し、ある地域では増え続ける移民によって公立小学校の教室が足りなくなっています。また、アメリカは古い移民と新しい移民で構成されていますが、母国が同じ人々が集まって住んだほうが便利なが多いため、同じような人種が集まって暮らすようになりました。このため、同じ都市の中でも地域によってさまざまな特徴ある地域が生まれてくると、政策的にも異なる要求や課題を持つようになり、地域コミュニティを基盤とした地域のマネジメントが生まれてきたのです。

※申込みは11月19日(木)から受け付けます。参加を希望される方は、電話・FAX・Emailのいずれかにより、必ず事前の申込みをお願いいたします。申込みの際はご氏名、ご所属、ご連絡先をお伝え下さい。

※本学には外来用の駐車場が十分にございません。公共の交通機関をご利用下さい。

<申し込み・問い合わせ先>

熊本学園大学 学術文化課
(社会福祉研究所)

月~金 9:00~17:00
(12:30~13:30を除く)

〒862-8680 熊本市中央区大江二丁目5-1
電話 096-364-8729(直通)
FAX 096-366-3158(専用)
Email: shafuku@kumagaku.ac.jp